

【投稿規定】

1. 投稿資格

本誌に投稿できる者は「子どもと大人の日本語の習得と教育デザイン研究会」の会長、及び委員が認めた者とする。

2. 査読

本誌掲載枠の種別は、3に記載するとおり、①～⑥がある。①～④は、運営委員会で決定する審査委員の査読を経て、採否を決定する。⑤、⑥については、運営委員が採否を決定する。

3. 論文の種別

論文の種別として、「研究論文」「研究ノート」「展望論文」「実践報告」「教育現場の声」「世界の日本語教育事情」の6種類を設ける。内容は下記の通りとする。

①研究論文

学術的目的のもと、的確な調査が行われ、学術論文として完成しているもの。日本語教育の観点から学術的価値があると考えられるもの。

②研究ノート

将来発展が見込まれる萌芽的研究、研究論文としてまとめるための基礎研究や中間報告。

③展望論文

日本語教育における特定の分野に関する研究を多角的に検討し、総合的にまとめたもの。先行研究を羅列するだけの内容は、これに該当しない。

④実践報告

特定のテーマや課題に基づいて現場で教育実践をし、その効果について報告するもの。

⑤教育現場の声

教育現場で学んだこと、感じたこと等を自由に発信するもの。

⑥世界の日本語教育事情

海外の赴任先の現状、現地での日本語教育事情について報告するもの。

4. 投稿方法

投稿希望者は、「子どもと大人の日本語の習得と教育デザイン研究会」の会長あるいは編集委員長に投稿希望の旨を連絡する。その後、編集委員長より送られる規定の形式（フォーマット）に沿って執筆し、締切までに提出する。

5. 原稿

規定の形式（フォーマット）に沿って執筆する。形式の変更は原則認めない。論文の構成に関しては自由とする。

各種の分量は次の通りとする。「研究論文」と「展望論文」は20ページ以内、「研究ノート」と「実践報告」は15ページ以内、「教育現場の声」と「世界の日本語教育事情」は10ページ以内を目安とする。図表、参考文献、脚注等もこの枚数に含める。

6. 投稿日程

各締切は、下記の通りとする。締切日に遅れた場合は、採択不可となることがある。

- ・投稿申し込み：7月31日
- ・原稿提出：8月31日
- ・査読後の原稿再提出：査読の状況により再提出の締め切りを設ける